

私たちの周りには音も振動もあふれています。心地よい音や振動もあれば、そうでないものもあります。そうでないものは騒音や好ましくない振動として認識されます。もちろん、鉄道も騒音や振動と無縁ではありません。鉄道は公共性の高い交通機関ですが、だからといって騒音や振動をいくらでも出してよいわけではなく、音源・振動源自体の低減や伝わる過程での工夫が求められます。今月号の特集ではその一端を紹介しましたが、現象もさまざま、対策もさまざまであることがわかりただけかと思います。取り組むべき課題はまだ多くあ

りますので、引き続き研究開発を進めて参ります。

さて、来月号の特集は「劣化・損傷メカニズムの解明」をお届けします。鉄道の安全・安定輸送には、構造物や軌道、車両などのあらゆる分野においてメンテナンスが欠かせません。鉄道総研では、劣化や損傷の発生メカニズム解明や進展予測に取り組み、メンテナンス技術の向上を目指しています。鉄道の安全・安定輸送や作業の効率化にもつながる最新技術を紹介いたします。どうぞご期待ください。(T.S.)